

伊自良苑保護者会

# 会 報

第 27 号

H22 年 6 月発行



H22.6.25



# 保護者会活動予定

平成 22 年

6月 25日 (金) ～6月 28日 (月) . . . . . 月末帰省

7月 4日 (日) (午前 8 時より) . . . . . 同朋会保護者奉仕作業  
※同朋会後援会総会

7月 17日 (土) ～7月 18日 (日) . . . . . 自閉症協会全国大会  
(和歌山大会)

7月 23日 (金) ～7月 26日 (月) . . . . . 月末帰省

8月 8日 (日) ～8月 15日 (日) . . . . . 夏季帰省  
※ (夏祭り)

9月 (一泊グループ) . . . . . 親子旅行

9月 10日 (金) . . . . . 藤倉秋葉神社盆踊り大会

9月 24日 (金) ～9月 27日 (月) . . . . . 月末帰省

10月 (日帰りグループ) . . . . . 親子旅行

10月 3日 (日) . . . . . ※山県市四国山栗祭り

10月 16日 (土) ～10月 17日 (日) . . . . . 手をつなぐ育成会東海北陸大会  
(長良川国際会議場)

10月 22日 (金) ～10月 25日 (月) . . . . . 月末帰省

10月 30日 (土) (都ホテル 16 時から) . . . . . 伊自良苑・桜美寮保護者交流会

11月 7日 (日) . . . . . ※ドリームスポーツ大会

11月 11日(木)～11月 12日 (金) . . . . . 全国自閉症施設協議会  
(長野大会)

11月 14日 (日) (午前 8 時 30 分) . . . . . 同朋会保護者奉仕作業

11月 26日 (金)～11月 29日 (月) . . . . . 月末帰省

11月 . . . . . 保護者研修会

12月 29日 (木) ～1月 5日 (水) . . . . . 冬季帰省

-----  
平成 23 年

1月 10日 (祭日) . . . . . 同朋会新年会・新成人を祝う会

1月 28日 (金) ～1月 31日 (月) . . . . . 月末帰省

2月 25日 (金) ～2月 28日 (月) . . . . . 月末帰省

3月 25日 (金) ～3月 28日 (月) . . . . . 月末帰省

4月 15日 (金) ～4月 18日 (月) . . . . . 月末帰省

※ の行事では、「保護者会バザー」を行います。ご協力をお願いします

## 自閉症と施設（伊自良苑）の関係について



伊自良苑  
施設長 平下博文

先般、全国自閉症者施設協議会より新たな法律や制度の制定にあたって、自閉症の人々の地域における豊かな育ちと暮らしを保障するためにいくつかの要望がなされました。

その基になる『自閉症・児者の豊かな育ちと暮らしのために』からいくつかを抜粋しながら、自閉症の人達の支援について、伊自良苑（施設）の役割について、願いを共有する意味で確認をしたいと思います。

自閉症の人達は周囲の状況を正しく理解することができずに、場面や状況にあった行動やコミュニケーションがうまくとれません。また、相手の気持ちを理解し周囲の人と共感的な関係を築くことが苦手です。さらに同じ行動を繰り返したり、決まったやり方にひどくこだわって、「変化」に対し強い不安や抵抗を示すなど、社会生活をおくるうえで様々な困難に直面します。

自閉症＝行動障害ではありませんが、このような障害特性から自閉症の人には高頻度で行動障害が出現します。自閉症の障害特性自体が自閉症に対する支援を困難なものにしますが、自閉症に対する理解の不足や、不適切な関わりが二次障害としての行動障害を出現させることで、さらに困難な状況に陥ってしまいます。

したがって、自閉症は知的障害という支援の困難性の上に、さらに自閉症という意味で二重の困難性、さらに行動障害が出現することで三重の困難性を抱えた障害といわねばなりません。

自閉症の人達はその障害特性から周囲の人達に理解されにくく、長年にわたって制度や施策の谷間に置かれてきました。不適切な環境や対応によって生命に関わるような激しい自傷行為や他害行為、何が何でもやり抜こうとする激しいこだわり、激しい器物破壊、強度の睡眠障害等々、二次障害としての強度行動障害の状態に陥り、不登校の状態になったり、知的障害福祉サービスの利用も断られやむなく精神病院閉鎖棟に入院せざるを得なくなることや、時には精神科入院すら断られることがあります。

こうした悲惨で困難な状況に対して、親たちの切なる願いによって自閉症の人達の療育と自立のための拠点としての施設づくりが進められてきました。家庭崩壊に至るような困難なケースを数多く受け入れ、それぞれの法人や施設の努力によって、自閉性障害に配慮した専門的で手厚い療育（支援）を受けることで行動障害が改善し、さらには地域生活や就労にも結びついた例もあります。

行動障害の改善は治ったと誤解されがちですが、行動障害が出現する原因となった環境や人間関係にもどしたり、自閉症への理解や専門性が不十分な支援の元では容易に行動障害が再現してしまいます。自閉症や行動障害が治るということはありません。生涯にわたる専門的な手厚い療育支援が必要です。

自閉症の人達は他者の気持ちを理解したりコミュニケーションをとることが苦手ですが、人としての「評価されたい」「愛されたい」とのごく当たり前の思いを持っています。そうしたこの人達の気持ちを理解し、環境を整えたり、障害特性に配慮しつつ、丁寧に肯定的にかかわることで様々な面で成長し発達することが明らかになりつつあります。

（全国自閉症者施設協議会「自閉症児・者の豊かな育ちと暮らしのために」より抜粋）

自閉症支援施設伊自良苑はその障害特性の理解に努めると共に、一人一人の生活づくりを進めています。24時間の寄り添い支援をする過程で二次障害としての行動障害の出現を軽減していくことを支援の方向としています。

本年度は、さらにもう一度自閉症者施設を始めた原点に立ち返り、自閉症の人達の生活づくりと、その支援を療育的視点に立って施設づくりを進めたいと思っています。

こうした施設を利用したいという人が近年特に増えています。一方で「施設不要論」に見られるように、私たちの施設環境は非常に厳しいものがあります。私たちはなんとしてもこのような施設を守っていかなければなりません。

私たちは今施設の役割を再確認し、施設が自閉症の人たちの支援拠点として、自閉症の人達が地域で豊かに育ち暮らすための総合援助センターとしての役割を果たしていく取り組みを進めていきたいと思っています。

この人達と共に歩むものとして、私たちの生き方が問われているともいえます。

今後も共に頑張っていきたいと思えます。

平成 22 年 6 月



## 健康第一

保護者会会長 後藤 三郎

平素より、保護者会活動にご協力・ご尽力戴きましてありがとうございます。2年前、前任の寺島会長より大役を引き継ぎ、無事任期を終える事ができました。今回、会員の皆様方より再任戴きましたので、引き続き「保護者が元気なうちは施設を出来る限り応援する」という方針で、保護者会活動を行っていきたいと思っています。引き続きご支援、宜しくお願い致します。

昨年度は新型インフルエンザの感染があり、大変心配しましたが、施設での適切な対応や、家庭での協力もあり、無事治まりホッといたしました。また、待望の作業所の建て替えが完了し、その変化に対し利用者の成長を実感したという話を聞き、嬉しくなりました。

さて利用者も親も日々、齢を重ね、「何よりも健康第一」を実感する今日この頃です。「帰省の時何をしているの。どうやって過ごしているの。体力が衰え年々しんどくなっていくよね。」という話をよく聞きます。そんな健康づくりと余暇の過ごし方の参考になればと、帰省の時に息子と登っている岐阜の山を紹介します。運動が苦手な人もチャレンジしてみてもはどうでしょうか。

### \*金華山

岐阜市。  
10以上のコースがあり、体力に合わせて選択できる。  
往復1～3時間。  
おすすめは展望台。  
難点は、山頂に人が多い事。



金華山

### \*百々ガ峰

岐阜市。  
10以上のコースあり。  
三田洞から古津まで車乗り入れ禁止の車道あり。山道が不得意な人には良い。往復2～4時間。お勧めは頂上展望台(人が多い)と西山反射板の南側(殆ど人がいない)。百々ガ峰



展望台

\* 文殊の森

本巢市。  
公園内のハイキングコース。  
往復 1~2 時間。  
人が少なく気楽。入口に管理棟、  
自販機あり。



文殊の森

\* 鳩吹山

可児市。  
往復 1~4 時間。多くのコース  
あり。真禅寺コースの往復が無  
難。山頂は見晴らし抜群だがや  
はり人が多い。



鳩吹山山頂より御岳と木曾川

\* 八木山・愛宕山 各務原市。

市の裏山という感じ。麓にもハイキングコースがあり、ぐるり一周する  
のがお勧め。3~4 時間程度。



八木山



愛宕山

\* 池田山

池田町。  
ドライブが好きな人にお勧め。車で頂上  
近くまで行ける。  
往復 40 分。山頂に立派な展望台があり、  
峠には山小屋風喫茶店がある。  
(休日のみ営業?)。  
池田温泉の先が車道の入り口だが、帰りは  
尾根伝いにドライブし、関ヶ原か春日  
村に抜けるのが良い。



池田山展望台

\*伊吹山 関ヶ原町。

山頂駐車場から往復1~2時間。西から登って、東コースに降りるのがお勧め。



伊吹山 山頂観測所

\*釜ヶ谷山 旧伊自良村。

往復3~4時間。伊自良苑に近く、伊自良キャンプ場から登る。4コース程あるが、龍神コースが登り易い。



釜ヶ谷山山頂風景

\*妙法ヶ岳 旧谷汲村。

華厳寺奥の院から横蔵寺までハイキングコースが続く。3~5時間。

シャトルバスで登山口まで行くか、頂上までの往復となります。奥の院から先の登山道は少し荒れていました。



\*その他、夜叉が池、瓢が岳、高賀山、船伏山、小津権現山、笠置山、養老山、国見岳、貝月山など、親子のふれあい・健康増進のための楽しい山が岐阜には一杯あります。

(注) 歩行時間はゆっくり歩いた時の大雑把な目安です。  
コースによって大幅に異なりますので注意して下さい。

帰省時に親子で山登りをしているという話や、行きたいけど一人（一組）では心配という声も聞きます。帰省時の健康づくりと余暇活動を兼ねて何組かで一緒に登れば良いなと思っています。



金華山と長良川と鵜飼大橋

また、こういった情報交換が、伊自良苑保護者会ホームページ (<http://ijiraen-hogosyak.ne.jp>)の中で出来れば、と思います。

## 自閉症児・者の豊かな人生づくりを

松野 英二  
(副会長)

多治見市で6月12日に開催された講演会に参加しました。

講師は「日本自閉症協会副会長」で「社会福祉法人けやきの郷理事長」の須田初枝さん。

須田さんは『親として伝えておきたいこと』と題して、自閉症の人たちが人生を豊かに生きるための「親の心構え」などについて助言をされ、「心のゆさぶり」の重要性を強調されました。

また、「けやきの郷」が運営する各施設が映像で紹介され、利用者が真剣に作業に取り組む様子やボウリングなどを楽しむ姿を見て「子どもの可能性を信じよう」との思いを一層強くしました。



講演会要旨は次頁の通りです。

51 歳になる自閉症障害をもつ息子と歩んだ私の今日までの人生は、若い頃に描いた夢に向けてのものとは陰と陽の違いがあるが、息子と共に歩んだ今日までの人生は、二人だけにしか味わえない「苦しい、楽しい、豊かなもの」だったと、負け惜しみではなく皆さんに伝えられる。この道のりの中で、どれだけ息子から生きるエネルギーを与えられたかははかりしれない。

自閉症の人たちは、自ら求めて（固執的興味以外）心豊かになるのは困難であるが、人生を豊かにするための環境作りとその中で、どのように楽しいものが生活の中にあるかを、しっかりと感じさせるための努力を、親子協同で教え、楽しまなければならない。

それには、時間をかけて個々のケース、状態を深く理解して、あせらず実行する。

人間として生きるためには、「喜怒哀楽」のある人生を送らせたいと願っているが、そのためには、世の中の人々が経験する心の中に起きる感情を、少しでも経験させて育てていくことだと思う。

すなわち、「心のゆさぶり」をどの様に経験させていくかである。

それには、親子の信頼関係が重要で、遊びの中で重ねていく以外には培われない。

子どもに親が振り回されるのではなく、振り回されながらもいつのまにか、親がなんとなくリードしている態勢にしていくことが大切。



親の心構え、心がけてほしいことは、

- ①良い意味の『開き直り』
- ②「かわいそう」を辞め、一人の人間として認めること
- ③年齢相応の大人として認めてやること
- ④親亡き後の理解ある社会作り
- ⑤父親の協力

息子は私の『手作り宝物』

両親の心からの愛情なくして自閉症の人たちの発達はあり得ない。

## 4月から毎日入浴できることになって

寺島 章夫  
(副会長)

今年の春は、私たち親子が伊自良苑にお世話になって、最高にうれしいニュースがありました。それは、毎日入浴できるよう図っていただいたことです。入所して10年間の悲願がかなったと思う親は、私だけではないでしょう。

私の子供は、生まれつき血液循環が悪く、ちょっとした気温の低下で、手足が冷えやすく、クーラーが効いた部屋では半袖で過ごせません。夏でも靴下が欠かせない上、多汗症の傾向で靴下がいつも湿り冷たくなっています。



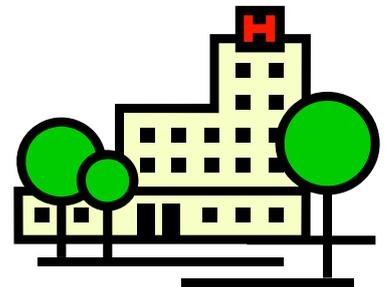
またアトピー性と乾燥肌の痒みから、体中に引っかき傷が常時あります。

さらに睫毛・眉毛を抜くこだわりが発生し、花粉時期にはとくに激しく、睫毛の生え際をこすり、目に細菌が入ったり、将来網膜はく離にならないかと心配しています。それに一日中ヘッドギアを着けっぱなしで額から頭部は蒸れぎみです。

その上4～5年前から足裏にウイルス性いぼや水虫(爪に菌が進入)が発症し、以来週一回皮膚科に通院し、一日3回の薬を塗布してます。当初いぼが何度も濃み、歩行障害を一層苦しめました。

また今年の夏より背中に湿疹が発症しました。

湿疹は4月からの毎日の入浴のおかげでようやく完治の見込みです。いぼ、水虫も年内を目処に治まると思っています。



入浴の温浴保温、保湿、からだ全体の清潔効果によって、上記のような問題を軽減し、本人の生きていくうえの困難さを少なからず減少させ、そうしてより快適な生活が微笑みを増やし、療育効果をきつと高めるものと期待できます。

これまで長い間、職員さんにかけて心配、不安、根気を込めた薬塗り、こだわり制止の緊張感などのご苦勞に、申し訳なく思うのですが、意外と、本人は職員さんの気持ちを引きつけることが出来、それなりのコミュニケーション・気持のやり取りを楽しみ、喜んでいたことと、改めて感謝申し上げます。

子供の欲求はささやかです。贅沢な食べ物、必要以上の身なり、豪華な旅行など、欲しがりません。とは言え子供の欲求に本当に応えている自信はありません。しかし入浴は一般的にも健康・衛生環境の基盤であるとともに、障害を持つ子供にとっては貴重でかけがえの無い娯楽、楽しみ、コミュニケーションの機会であり、一連の入浴場面での介助者との気持のやり取りを、子供は欲していると思います。

「ウイ、ウイ」と喜ぶ子供の奇声が聞こえるようです。今回の施設方針は、療育環境・効果を前進させる英断であると、たいへん感謝しております。

子供はこれ以外に四肢の障害が発生しております。苦勞話ならきりが無い会員さんや職員さんを前にして、ひけらかすつもりはありません。

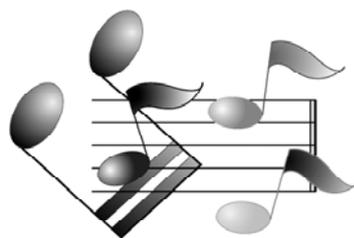
しかしこのような個別の障害の実態をお話することで、皆さんに私と子供をより理解していただき、そして伊自良苑の一員であることを改めて認めていただきたいと思います。



私も、皆さんの個々の苦勞話も聞くことにより、互いに学びあい、生きる力にもできると思っています。

こうして自閉症施設の実情を理解し合うことも、保護者会と施設全体の絆を強くすることだと信じています。

## 保護者会 会計を受けて



高井 玲子  
(会計)

『今年度より、会計の仕事をさせていただきます。……』とは言っても、役員さんや、保護者さん達の名前や顔もあやしい所で、ご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、少しでも私のできる事をさせて頂きたいと思っています。

子供は大揮（ひろき）と言います。  
苑に通所するようになって、早いもので、7年目になります。  
職員さんにお手数をかけ乍ら、仕事は何とかやっているようですが、何しろ「お家はここ!!」が口ぐせで、毎朝、苑につれて行くまでが、大変……。なかなか自主的に「行こう!」としてくれません。

自分から進んで行ってくれる事を、願っているのですが、その「ハードル」は高そうですね。



とにかく、親子共々 頑張っていきたいと思っていますので、宜しくお願いします。

## 新役員

浅野 麗子  
(会計監査)

はじめまして、今年度保護者会役員の間入りした浅野です。



先日6月5日の第1回役員会では、実態に合わなくなっている現実の問題（親の高齢化）を考えていくという内容（親子一泊旅行）を話し合いました。

本質ではなく方法を変えていくという意味です。良いところは、もっと良くしたいという思いの中で、すごく楽にいろいろな内容の交流ができました。

年々変化する閉塞した味気ない虚しい社会に、子どもたちの行先を案じ、苑での豊かで、居心地のいい生活を送れ、歓びを見出せることを願う話し合いでした。

障がいや生活背景の違うものだからこそ、お互いの立場に立ち、一体化するのではなく違ったままに共にある多様性の価値観を認めることの大切さも感じました。

議論の中でも、限られた条件を最大限に生かして、知恵を絞り、細かいところまでも、話し合い、耳を傾けお互いを尊敬しあう姿の役員会でした。

とにかく助け合って明確なメッセージを伝える努力をし、私のできる範囲でお役に立てればと願っています。

元気でしっかりと頑張ってまいりたいと思いますのでよろしくお願いします



再び役員をさせていただきます・・・

林 晃弘  
(書記)



今年（平成22年）は春が来るのが例年より遅く、熊の冬眠の如くに、家に閉じこもっていることが多かったのですが、そんな或る日に、新年度の保護者会の役員になる誘いをいただきました。

以前にも役員をさせていただいていた時期はあったのですが、高齢者（私自身は好きな言葉ではないですが）の仲間いりした時を機に、役員をおりさせていただき、一保護者として今日に至りました。

その間、社会は急激な変貌を遂げていきました。政治の世界では一時代の寵児であった小泉総理以後の自民党の、目を覆いたくなるような情けない政権運営に、遂に国民の堪忍袋の緒も切れて、政権交代という一大事が起きました。

もっとも民主党も当初の人気とは裏腹に右往左往としている昨今です。

私共に直接関係する“自立支援法”も発令され、その対策に施設側も尽力されていますが、又、それも廃案になるという混迷の世の中。

翻って伊自良苑では、入所、通所を含めて、苑生は随分と増加してきたようです。環境面も、グループホームの拡大、大森作業所の開設、住居裏の旧作業棟の建替え、等々充実をしてきています。



一方、苑生の保護者の高齢化による帰省対応の問題、保護者の年齢の格差による行事内容の調整、保護者と施設側との密接なコミュニケーションの確立、等々今後の課題は決して少ないとはいえません。

そんな中で、いまさら老体の身で、役員をお引き受けしても、たいしてお役に立つとは思えず固辞したのですが、結局は引き受けることになりました。

先日の役員会に出席させていただきました時に、以前と較べて若い人が多くなり、頼もしいと同時に、ついていくのに苦労しそうです。



でも私も子供がお世話になっている限り、陳腐な言葉ですが、保護者と施設側がお互い相互信頼と理解のうえ、子供のこれからの幸せな生活の向上の為の礎になるならば、そのためには、ない知恵と、老体を少しでも使って、頑張らせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

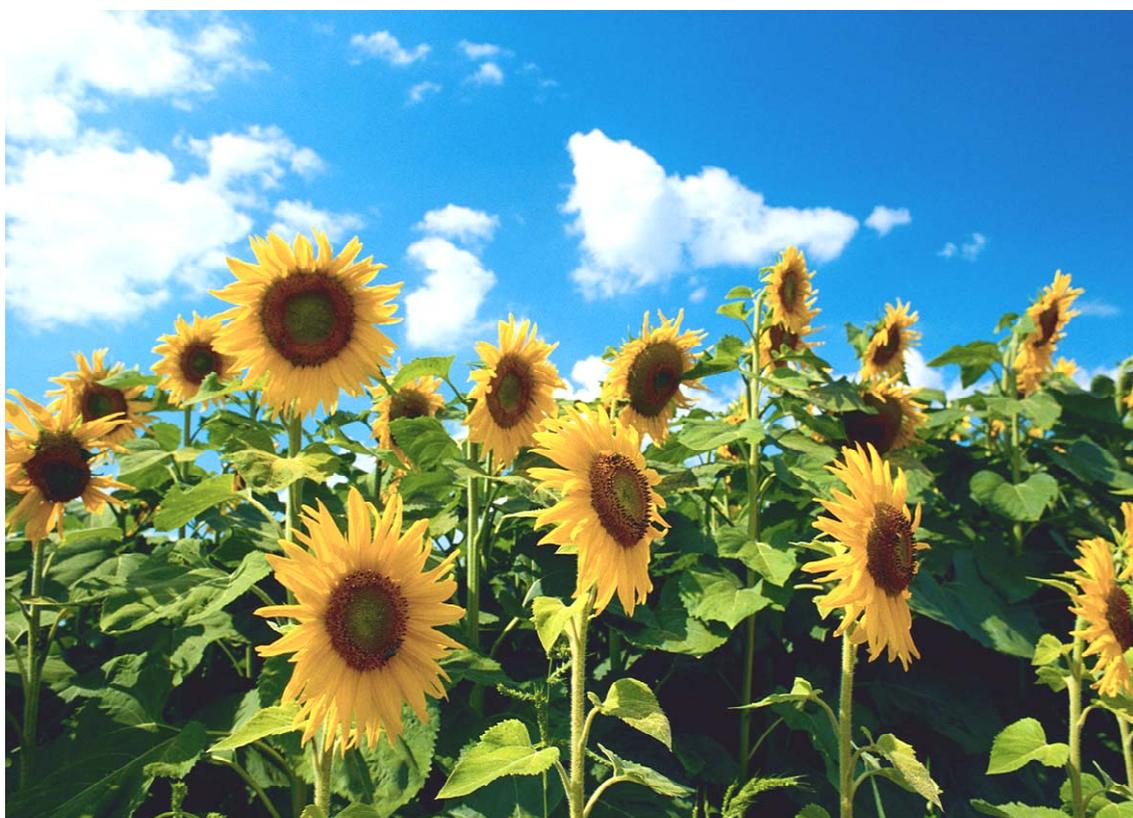


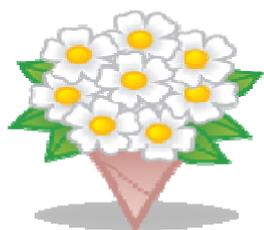
## 新役員になって一言

春野 久幸  
(書記)

日頃より「保護会」の運営に関係し、利用者の幸せな人生の為、ご尽力いただきましたこれまでの「役員の皆様」にお礼申し上げます。

今までは、伊自良苑保護者会の行事への「出席」という行動でしかありませんでしたが、これからは「役員活動」を通じて利用者・保護者にとって「幸せな人生」の為に伊自良苑をより良くする事を念頭に皆様のご指導ご協力をよろしく戴きたくお願い致します。





平成 22 年 4 月より  
伊自良苑に着任された職員さんです。  
よろしくお願いします。

氏 名	野村 明里 (のむら あかり)
担 当 館	西館
担当ユニット	さえずり
担 当 作 業	新作業棟
血 液 型	O型
星 座	おひつじ座



(一言コメント)

分からないことだらけですが、一生懸命がんばりますので、よろしくお願いします。  
みなさんとたくさん関って仲良くなりたいです。

氏 名	河野 紗恵子 (こうの さえこ)
担 当 館	西館
担当ユニット	さえずり
担 当 作 業	新作業棟
血 液 型	A型
星 座	かに座



(一言コメント)

一つ一つ頑張っていきたいと思います。  
よろしくお願いします。

氏 名 三島 美保  
(みしま みほ)

担 当 作 業 新作業棟  
血 液 型 O型  
星 座 ふたご座



(一言コメント)

7年前まで伊自良苑で正職員として働いていました。今年度5月から「パート」として再び働くことになりました。  
昼間（主に作業時間帯）ですが、利用者の方と楽しく支援ができたら・・・と思っています。よろしくお願ひします。

氏 名 絹谷 栄策  
(きぬや えいさく)

担 当 館 東館  
担当ユニット ひだまり  
担 当 作 業 新作業棟  
血 液 型 A型  
星 座 かに座



(一言コメント)

『謙虚』に・・・。

ただ ただ それだけです。  
よろしくおねがい致します。

氏名	山田 三裕 (やまだ みつひろ)
担当館	東館
担当ユニット	ひだまり
担当作業	新作業棟
血液型	B型
星座	いて座



(一言コメント)

今年より社会人となりました。まだまだ不慣れで仕事も遅いですが、一生懸命支援員としての仕事を全うしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

氏名	野崎 真人 (のざき まさと)
担当館	東館
担当ユニット	せせらぎ
担当作業	新作業棟
血液型	A型
星座	かに座

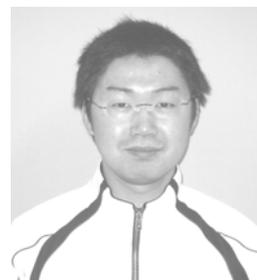


(一言コメント)

同朋会の特別養護老人ホームの方で9年ほど働かせて頂いていましたが、4月より伊自良苑の方にて働かせて頂くことになりました。利用者さんと接していく中で、自分も成長していけたら良いなと思っています。至らぬことも多々あると思いますが、頑張っていきますので宜しくお願いします。

## 『障がい者支援センタークロスから』

伊自良苑地域支援部  
障がい者総合支援センタークロス  
相談支援専門員 蔵園 契



まず始めに、軽く自己紹介をしたいと思います。今年小学校に入った6歳の娘と、保育園に通っている3歳の娘を持つ、二児の父で自分で言うのはなんですが…子煩悩な父親であります。



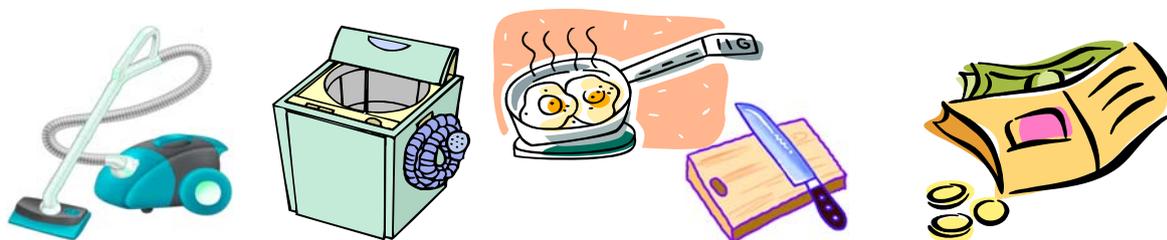
同朋会に就職して10年以上経ち、昨年度まで伊自良苑の西館で勤務をしていたのはご存知の通りですが、それ以前は、桜美寮、ワークス伊自良といった同法人内の知的障がい者施設で働いた経験もあります。

そして、今年の4月に自分にとっては未開の部門である「地域支援部」に移りました。当初、自分に地域での相談員が勤まるのか大変不安でした。その不安は今も当然ありますが、実際、約2ヶ月が経過し、この仕事の難しさと楽しさを日々感じながら四苦八苦ししながら勉強している毎日です。まだまだ、未熟で地域の方にとっては頼りにならない存在ですが、「伊自良苑のクロスには蔵園が居るから大丈夫」と言われるくらいに、何とか頑張りたいと思っています。

さて、本題にはいりますが、いったいクロスではどのような業務をしているのかというと、大きく分けて『相談支援事業』と『障がい児等療育相談事業』の2つの事業を行なっています。

1つは、『相談支援事業』でこの事業が主な私の業務となります。相談支援とは地域で生活をされている障がいのある方が自分の住み慣れた土地で安心して暮らせるお手伝いをすることです。例えば、「仕事がしたい」「買物がしたい」「お金の管理が不安」「掃除が出来るようになりたい」等の希望に対し、本人の将来を見据えたプランを考え、福祉サービスの『介護給付』や『訓

練等給付』又は市町村のサービスである『地域生活支援事業』などを組み合わせて提案させていただいています。もちろん、その後の経過も訪問相談をしながら関わり、時にはプランの変更もしながら、より良い安心できる暮らしの実現へ向けて一緒に考えていきます。



もう 1 つの『障がい児等療育支援事業』に関しては、毎週 2 日（火、土）に臨床心理士である宮脇先生と行なっています。主にクロスでの「個別療育相談」と「各保育機関への巡回相談」をしています。法人内の鏡島保育園や華陽保育園はもちろん、それ以外の市町の保育園にも計画的に巡回し、実際の療育の現場にて発達に不安のあるお子さんを観察し、保護者又は現場の保育士への相談、助言等を行なっています。又、保育関係者への研修等も随時行なっています。毎回、宮脇先生のお子さんを看る真摯な姿勢、『見立て』、観察力に感動し、少しでも吸収できるよう貴重な時間を過ごさせていただいています。

大まかにこの場を借りて自己紹介を兼ねて、クロスについて紹介せさせていただきましたが、地域での現状は、もっと深く、本当に困っている方が多く、適切なサービスもなく、ご苦労なさっているご家庭が多くあります。このようなご家庭にも笑顔があふれるように、粉骨砕身取り組んでいきたいと思えます。



所在地 岐阜市平和通 3-2-1

TEL 058-210-2078 (24 時間 365 日受付可) FAX 058-294-7206

# 同朋会後援会

子供たちの後援者である同朋会後援会では会員を募集しています。  
ご加入と追加加入のご協力をお願いいたします。

## 会員募集中

年会費 正会員 1口1万円  
賛助会員 1口1千円

お申し込み・詳細については伊自良苑（事務局）  
TEL 0581-36-2175までお問い合わせ下さい。

### 編集後記

会報 27号では「新人支援職員」さんの紹介を、お届けしました。

そろそろ「夏季帰省」の準備をしなければなりませんね。どの様にすごされますか？

親子に無理のない「長期帰省の過ごし方」などをお知らせ下さい。

今年度も「会報発行」に関してご協力をお願いいたします。

### 広報役員

西 館 竹内 修  
東 館 樋渡 春香

